

東北海区沿岸水温予報(2019年)

海域	経過 (4~5月)	現況(6月上旬~ 6月中旬)	見通し (7~8月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県 太平洋沿岸; 青森水総研発表)	・定地水温:4月から5月は平年並み ~やや高めで経過した。	・定地水温はやや高め。 ・6月の津軽暖流の各層水温は表面で平年並み、50m層及び100m層でやや高め。東方への張り出しは平年並み(太平洋海洋観測結果)。 ・6月の対馬暖流の各層水温は表面及び100m層でやや高め、50m層ではなはだ高め(日本海海洋観測結果)。	・津軽暖流域の水温は平年並み~やや高めで推移する。	・FRA-ROMSによると、7月上旬は高め基調であるが、7月後半には平年並みと予測されている。また、親潮第1分枝が南偏傾向、冷水域が青森県沖に形成されると予測されている。 ・津軽暖流の張り出しは平年並みの傾向がみられる	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	4月:【観測日:4/8~4/9】 《表面水温》 10海里以内は4~8℃台であり、概ね平年並みであった。 10~50海里は、県北部から県中部沖の40~50海里で極めて高めであった。 《100m深》 県北部から県中部沖の10~70海里で平年並み~やや高めであった。 5月:【観測日:5/9~5/11】 《表面水温》 10海里以内は8~10℃台であり、全県でやや高めであった。 10~50海里では、県中部沖20~70海里でやや高め~高めであった。 《100m深》 県北部から県中部沖の20~50海里でやや高めであった。	6月:【観測日:6/3~6/4】 《表面水温》 10海里以内は11~14℃台であり、全県でやや高めであった。 10~50海里は、県南部沖20~70海里でやや高めであった。 《100m深》 10海里以内は、概ね平年並みであった。 10~50海里は、県中部から県南部沖の20~40海里でやや低めであった。	7月は、100m深水温は平年並み、各0海里定点の10m深は平年よりやや高めと予測。	農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した水温経験的予測システムを用いて解析した。	5月中旬の定置網におけるサバ類水揚量は3,706トンで、前年(675トン)の5倍であった。
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	4月:沖合に黒潮系暖水が波及し、38°Nラインの142°30'E以東で、表層で最大8℃、水深100mで最大5℃平年より高め。 5月:沖合に冷水が波及し、142°30'E以東で表層で2℃、水深100mで4℃、平年より低め。	表層は142°E以東で1~2℃高め、100mは局所的な冷水分布があり38°Nラインの142°E付近で5℃低め。38°50'Nでは1~2℃高め。	【100m】全海域で平年並み。	自己回帰係数固定モデルによる。	局所的な冷水の分布がある。
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水セ発表)	100m深水温 【4月】 県北:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県中:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや高め」 県南:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや高め」 【5月】 県北:沿岸は「平年並み」、沖合は「やや低め」 県中:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県南:沿岸、沖合ともに「平年並み」  ※県北:37-50N、県中:37-25N、 県南:37-00N、 沿岸:142-00E以西、沖合:142-15E 以東	100m深水温 【6月】 県北:沿岸、沖合ともに「平年並み」 県中:沿岸は「高め」、沖合は「極めて高め」 県南:沿岸、沖合ともに「極めて高め」	100m深水温 【7月】および【8月】 「平年並み」、もしくは「平年より高め」で推移する。	水温経験的予測システムの自己回帰モデルを用いた水温予測によると、7月、8月ともに100m深水温は「平年並み」、もしくは「高め」基調で推移する。 また、気象庁の海面水温・海流1か月予報(6月10日発表)によると、7月10日までの本州東方の海面水温は「平年より高いか、かなり高い」見込みとなり、親潮は「南限位置は、41°N、146°E付近」、「面積は、平年より小さいか、かなり小さい」と予報されている。 また、FRA-ROMS発表の2019年7月予測水温偏差および7~8月にかけての100m深予測水温によると、7月上旬~下旬にかけて本県沿岸を含む海域の水温が平年より4℃高めとなる他、本県沿岸への親潮系冷水の波及は8月上旬まで見られないことが予測されている。以上のことから、7月から8月にかけて「平年並み」もしくは「平年より高め」で推移すると予測した。	

<p>常磐南部 ～鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試発表)</p>	<p>4月:親潮系冷水が南下した影響で、会瀬定線の0～50m深141°付近、100m深141.5°付近、鹿島定線の100m深141.75°付近で「低め」だった。200m深では広い範囲で「やや低め」だった。大洗～鹿島定線の0～100m深では「やや高め」も見られた。 5月:0・50m深で「平年並み～高め」、100・200m深で「平年並み～極めて高め」だった。特に北部沿岸側および黒潮流路にあたる沖合側で平年より高い傾向が強かった。</p>	<p>会瀬定線では沿岸域で平年並み～高め、沖合域で極めて高めだった。大洗定線では、極沿岸部でやや低めが見られたが、それ以外では平年並み～高めだった。鹿島定線では平年並み～やや高め、犬吠埼定線では広範囲で平年並みだが、0～50m深でやや低めだった。</p>	<p>表層で「やや高め」、下層で「平年並み」で推移する。</p>	<p>①6月上旬、茨城県沖は黒潮系暖水に広く覆われており、特に北部で水温が高い傾向にあるが、沿岸域の下層では冷水の影響が残っている。 ②FRA-ROMSによると、1か月後の水温は表層で「やや高め」、100m深で「平年並み～やや高め」との予測。 ③6月の海洋観測データを用いて自己回帰分析を実施したところ、7月の水温は「平年並み～やや高め」、8月の水温は「平年並み」との予測結果となった。</p>	<p>4月上～中旬、会瀬の定置網にホオジロザメが入網した。</p>
--	--	---	----------------------------------	---	-----------------------------------

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い(7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い(20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並(40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い(20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い(7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～